

【全体概要】

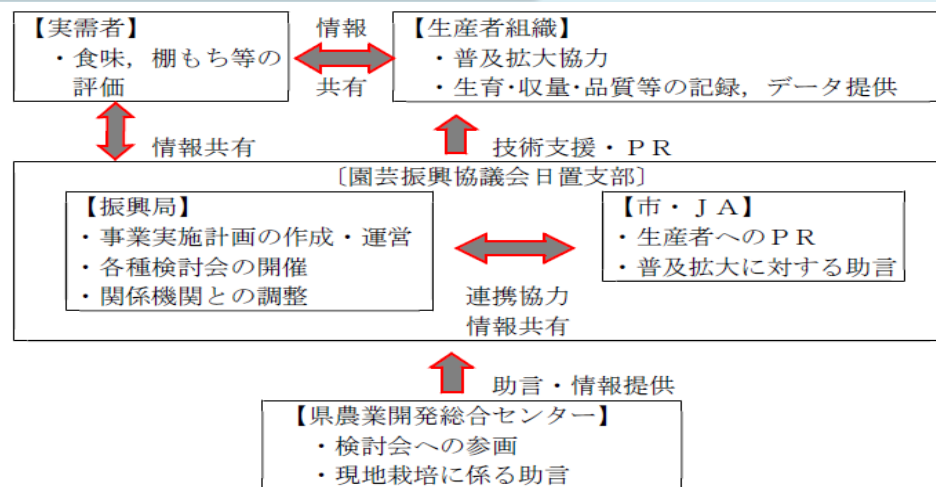
日置地域のいちご生産は50年以上の歴史があるものの、更なるブランド化推進のため、従来品種に加え、県育成品種の導入により、実需者のニーズに応じていくことが求められている。

このため、県が育成した品種「鹿児島6号」（愛称「ぴかいちご」）の普及拡大を図り、地元市場や直売所、観光農園など、地域に根ざした産地育成を進め、農家所得の向上を図る。

新品種・新技術等の概要

- 品種名：「鹿児島6号」（愛称「ぴかいちご」）
- 開発年：2018年
- 特性等：①「かおり野」を母親、「紅ほっぺ」を父親として交配
②「さがほのか」と比べて葉柄長と葉身長は長く、草勢が強い。果梗枝も長い。
③「さがほのか」と比べて栽培期間を通じて糖度が高く、果実の色は肩部分まで赤く、色むらのない完全着色タイプ
④輸送性については、やや劣る
⑤電照処理、ジベレリン処理は不要

事業実施の体制図



実績と今後の展開

- 取組実績
 - ・「ぴかいちご」は15戸の生産者で28.8aで作付けされ、13戸の生産者が、親株を発注し、産地への導入が進む。
 - ・栽培技術現地検討会を開催し、品種特性等を周知
 - ・傷みの少ない宙づり型包装資材輸送容器による試験販売を実施 → 一定の評価
 - ・実需者（鹿児島市場、量販店等）への食味調査や意見交換を通じた品質の評価を把握
- 今後の展開
 - ・更に当品種の栽培特性を整理し、栽培技術の向上とともに栽培面積の拡大を図る。

主な取組内容

- 品種の栽培特性把握と栽培技術の整理
 - ・品種の栽培特性の整理とマニュアル化
 - ・栽培技術検討会の実施
 - ・先進地（佐賀県等）での情報収集
- 品種特性の紹介と産地への導入推進
 - ・生産者への品種特性の紹介
 - ・新品種の親苗要望調査の実施と推進
- 輸送性の改善対策の実施
 - ・傷みの少ない宙づり型包装資材による出荷
 - ・市場等実需者の品質や食味に関する意見の集約



出荷対策検討会の実施



輸送容器を変更した試験販売の実施

